

◎長崎市P T A連合会と教育委員との協議（第2回）

日 時：平成30年1月9日（火）10時30分～

場 所：議会第4会議室

出席者：長崎市P T A連合会（原会長、溝上副会長、濱添副会長、杉本事務局長）

教育委員（馬場教育長、坂本委員、小原委員、吉松委員、野本委員）

教育委員会事務局（12名）

協議内容等：①資料説明〔・（仮称）学校給食検討委員会  
・アレルギーの対応状況

②意見・回答

・検討委員会の検討内容は①学校給食基本方針に基づくあり方②学校給食の課題および方向性とし、組織は教育委員の代表者と保護者代表、教育関係者で構成し、必要に応じて学識経験者や給食物資関係者を入れていくこと、位置づけについては、条例を設置するような正式な会ではなく、機動力があり、小回りの利く会にすることで、意見が一致。  
（P T A）アレルギー対応への希望を出しても対応できない理由は何か。

（事務局）給食施設に専用室の整備がなされていないこと、栄養教諭等が配置されていないために、調理員だけでは細やかな対応ができないこと、栄養教諭等が配置されている学校でも対象児童生徒の数が多ければ対応できないことなど。

（P T A）学校給食センターの少ない栄養教諭等の数で約54人の対応が代替食まで可能か心配。

（事務局）県内他都市の学校給食センターも同様と思うが、基本は除去食。可能であれば代替食を提供するというもの。8千人規模であれば栄養教諭は3名の配置となるが、諫早市は3名の配置に加配1名の4名でやっている。

（P T A）4ページの表のその他の欄のアレルゲンについて、センター方式にすることでどれだけ対応できるようになり、どれだけ対応できなくなるのか。

（事務局）次回提示する。

（P T A）卵・乳・甲殻類・ナッツ類・そばのアレルゲンに対する除去食に対応するとの方針で行くなら安心できるが、

そのあたりは具体的に示せるか。

(事務局) 現状で対応することとしている品目については確実に  
対応する方向で検討している。

(P T A) 大規模になるほど食中毒などの危険性が高まる。食  
の安全性を配慮して検討してほしい。

(事務局) 安全性は一番の基本。今までなかったエアシャワー  
など物理的な安全対策など、他都市の情報を収集し、万全  
を期したい。

(P T A) 食育への取り組みや経費削減について教えてほしい。

(P T A) センター方式にすることで、できなくなるメニュー  
などデメリットもしっかり示してほしい

(事務局) 他都市の事例を調査し、今後お示ししたい。

(教育委員) 残食も大きな課題。おいしくするためにマニユア  
ル以上に味付けするのか、健康を考えて体によいものを提供す  
るのか議論していきたい。